

対馬市 ST 事前打ち合わせ 打合せメモ

日時： 2013年6月13日—15日（14日帰着予定が飛行機欠航のため1日遅れ）

行程：

月日	発着地・視察先等	時間	内容
6/13 (木)	新山口発	9:10	新岩国駅火災のため新幹線遅延
	博多港発	10:45	九州郵船 ジェットfoil
	対馬（厳原港）着	13:00	対馬市 玖須係長公用車で出迎え
	対馬市役所		市役所にて打ち合わせ（後記）
	同所発	15:00	ツアー先視察（烏帽子岳展望所）、対馬野生動物保護センター
	ホテル着	18:00	
6/14 (金)	ホテル発	8:40	
	花海荘（宿泊予定）	9:00	予約状況の確認、宿泊費、BBQ会場の見学
	代替宿泊先	9:30	対馬みうだペンション視察（空きあり）
	韓国展望所	10:00	STコースに入れるかどうか未定（時間次第）
	舟志の森	10:45	体験場所（山猫痕跡調査他）
	同上自然学校	11:15	昼食場所&雨天の場合の体験場所
	対馬馬事公園	13:00	時間があればコースに入れる
	油化装置見学	14:00	発泡PSの油化装置（悪臭あり、人により差が大きい）
	対馬空港	16:00	霧のためANAは終日欠航
	ヤマネコ訓練施設		環境省によるツシマヤマネコの野生復帰のための訓練施設（建設予定地）飛行機欠航のため時間ができたので視察
6/15(土)	対馬空港発	9:00	
	新山口着	11:00	市役所から参加の2名は別（厚狭駅経由）

1. 参加者（敬称略）

対馬市： 自然環境推進室 荒木室長、玖須係長
 宇部市： 環境政策課 茂刈係長、高橋
 UNCCA： 仰木事務局長、亀田、藤井



2. 打ち合わせ内容

(1) 対馬市役所会議室での事前打合せ

- ① まず今回の事前打合せのスケジュールの説明
 実際のSTの視察箇所を網羅していた
- ② 実際のSTスケジュール（計画）は後日、玖須係長より送付してもらう
- ③ 初日（8月20日）
 - 到着後対馬市役所にて昼食（弁当を手配する）
 - 船酔いの子供もいるかもしれないので15時頃市役所出発
 - その間、万松院（有料）、歴史民俗資料館へ徒歩で案内（気分の悪い人は会議室で待機）
 - 15時頃バスで出発しその日は直接ホテルへ（約2時間）
 - 宿泊先（花海荘で連泊予定）にて初日はとんちゃん（豚の肩ロース）のBBQ
- ④ 2日目（8月21日）
 - 疲れていると思うので9:00にホテル出発
 - 舟志の森にて体験（ツシマヤマネコ痕跡調査）
 - 2班に分かれて行動
 - （糞を探したり、仕掛けたカメラで確認、山猫保護のための森林整備について見学）
 - 昼食は舟志の森自然学校にて昼食（弁当手配）と休憩
 - 雨天時は同上学校にて別メニュー

- 午後は「対馬野生動物保護センター」にてツシマヤマネコについて勉強と見学
 - その後近くの棹崎公園海岸にて漂着ゴミの状況見学と海岸の清掃活動
 - 花海荘（晩飯は広間にて）
- ⑤ 3日目（8月22日）
- 8時半ホテル出発
 - 発泡PSの油化装置見学
 - 悪臭あり、(臭いに耐えられない人と、ほとんど感じない人と個人差が大きい)
 - 帰ってからの懸案事項会議の席で油化装置の見学取りやめにしたいとの強い意見があり対馬市に代案申し入れ
 - 対馬市役所にて昼食（弁当）とお土産等買い物時間
 - 過去の受け入れの経験からお土産屋さんの案内の希望が多い
 - 35名に対応できる食事場所が対馬市にはないため昼食は3食とも弁当となる
 - 13時発のジェットfoilで対馬出発
 - 冷蔵庫は空なので、持ち込み（または管理事務所に自販機あり）
 - バスの駐車代の割引券は受付時に渡してもらえる。
- ⑥ 島内の観光施設は万松院と馬事公園での乗馬体験以外は全て無料
- ⑦ ジェットfoilの料金については往復で8,000円となる割引制度もあるので、後日その資料を送る。
- ⑧ 弁当の手配に当たりアレルギー（特にそばアレルギー）の調査しておいたほうが良い。
弁当にそばを入れない等の対応可能（対州そばが名産のため入る可能性大）
- ⑨ 体験の日は服装は長袖・長ズボンで帽子は必須。虫よけスプレー等あれば良い
- ⑩ ⑨暑さ対策として水分補給をしっかりとすること。北部にはコンビニはないのでホテルで飲み物を補充してから出発のこと
- ⑪ 花海荘から10分のところに病院はある。但し大きな外科治療は厳原まで車で2時間の輸送となる。
- ⑫ 対馬市へのSTでは主にツシマヤマネコの生態と保護活動について学んでいただきたい。
- 対馬の自然とそれを保護する人たちに触れて、宇部の子供たちには“自分たちの日頃の行動が環境にどのような影響を与えているか、自分たちは宇部で何が出来るかを学んでもらいたい。

(2) ツアー見学箇所の視察

① 宿泊場所「花海荘」

- 現時点では初日の6部屋くらいしか取れていないが、ツアー会社からの仮予約でキャンセル多いので問題ないと思うとのこと。（後日、初日分は確保できたと連絡有り）
- 宿泊料（2食付）： 大人 8,940円/泊、小学生：6,640円/泊
- 貸切バス：関連会社のグリーンネット観光がやっている。料金は
- 料金は1日チャーター（花海荘宿泊の場合）：大型バス 57,750円（ガイドなし）
- 3日間のチャーターではなく1日+半日*2の2日分とならないか交渉必要（玖須さんの力を借りるつもり）
- 場所柄もあり、韓国からのツアー客は多い

② 舟志の森

- 住友大阪セメントの広大な敷地を利用してツシマヤマネコの野生を助けている。
- 糞を探したり、監視カメラをチェックしたりと地味な作業になるがガイドの腕次第。
- 野生の森の保護については分かり易い説明となりそう。

③ 対馬野生動物保護センター

- ツシマヤマネコと家ネコの違い等を含めて楽しく学べそうに思えた。

④ 海水浴場、海岸の見学

- 一斉清掃がやられたあとであまり漂着ゴミは多くなかった。
- 折角だからゴミを見るだけでなく、一斉清掃まで組み込むことにした。



以上



B ツシマヤマネコについて

ツシマヤマネコってどんなネコ?
対馬だけに生息する希少な小型ネコ科動物
Rare small feline unique to Tsushima
쓰시마 섬에만 서식하며 희귀한 소형 고양이과 동물

ツシマヤマネコは、日本では長崎県対馬だけに生息する小型のネコ科動物で、東アジアから中東、朝鮮半島、アムール川流域にかけて広く分布するベンガルヤマネコの亜種とされています。

新島群島や海軍記念館林、田嶋、沢口など多様な環境が適する場所が暮らしに適した気候と合わせています。基本的に食料性で警戒心が強い動物、人の目に触れることが少なく、繁殖力が強いですが、獲物によって保護された動物、自動車カメラによって写真、集められた量が多い、再産卵による繁殖促進、発見された場所などからツシマヤマネコの数がわかっています。

ツシマヤマネコ
学名: *Prionailurus bengalensis ussurianus*
科名: Felidae
科名: Felidae

現在の推定生息数 **080~110**頭

